

布施の心

本多 克也
(略字も)

14

【転職とテフロンとの出会い】

メッキの成功は、一躍業界の注目を浴びた。それほど、「三テールランプのプラスチックカバーへの無電解メッキ」は、当時自動車業界では画期的なことだったのだ。おそらく、世界初でもあった。

いくつかの会社から私に熱いオファーの視線が注がれはじめた。中でも、日本ダッジファイバーズ(株)は、新しくできた会社で、技術者を嘱望していた。

先に同社へ移っていた同僚の中村弘氏が、度々私に誘いをかけてくれたり、同社の江下工場長が梶屋(株)を訪れて、岡野さんに私の移籍を熱心に口説いたりして、活発なヘッドハンティングの動きが始まった。

これらの動きに対してもうしてよいか判断がつかず、岡野さんに相談したところ、「それもありかな」と反対ではない感触だった。

多分、岡野さんとしては、我が子のように手塩にかけた私を外に出すこととは、本当は寂しいに違いない。しかし一方で、私の将来を考えたとき、いろいろな経験をさせるのもありだと思ったのだろう。

数ヶ月後、岡野さんが、「本多、ダッジに移つてもいいぞ」とオーケーの言葉をくれたとき、私は直ちに転職を決断した。仲間の熱心な誘いに加えて、岡野さんの親心の決断に触れたとき、私は「違うステージに移つて、必ずこの方々の期待に応えよう」と決心した。一九六五年十二月、二十八歳のときだった。

「人生意気に感ず」という言葉があるが、私も事に当たつて、いろいろな計算や打算よりも、人との関係や心意気になかっただけだ。



テフロン加工のフライパン

2023年3月本多産業株式会社は
設立50周年を迎えました。

 本多産業株式会社

【本 社】神奈川県横浜市戸塚区戸塚町3814
TEL:045-869-1133
【長崎工場】長崎県雲仙市吾妻町布江名677
TEL:0957-38-3520

動かされるタイプだった。

岡野さんは、賛成の言葉とともに、「これからはテフロンの時代になるぞ。その中でも、フローグラス製品を担当させてもらえ」とのアドバイスもくれた。

※フローグラスとは、ガラス織布にテフロンを塗布したシート

これは、今思い返せば、私のその後の人生を左右する重要なアドバイスだった。

テフロンについては、すでに梶屋で少しかじって、多少の知識はあった。非常に高価なものだということも知っていた。当時、テフロン一グラム一萬円もしていた。しかし、まだその素晴らしさについて十分な知識は持ち合わせていなかつた。

考えてみれば、私が入った「日本ダッジファイバーズ」は、親会社が「中興工業」といって、炭鉱関連の会社である。炭鉱業界では通常、石炭を「一山いくら」で取り引きしているわけだが、子会社の日本ダッジファイバーズは「一グラム何万円」の世界で、そのコントラストがおかしかった。

日本ダッジファイバーズでは、岡野さんのアドバイスに従つて、フローグラス製品の研究を担当させてもらった。「テフロン」という名前は、「テフロン加工の鍋」など一般にも広く知られているが、フッ素樹脂の一種で、デュポン社の商品名だ。最初は、アメリカのNASAが宇宙開発用として開発したと聞く。

テフロンの性質としては、熱に強い、物にくつかない、薬品に強い、UVに強い、無味無臭などなどだが、これほど多くの優れた特性を持つている樹脂は、今でも他に見当たらない。

私は、この後の人生、「テフロン」に魅せられて生きていくことになる。